



ましきな

校是：向学 誠実 開拓
 与論町立那間小学校
 TEL 0997-97-2278
 FAX 0997-97-4950



「五感を使った授業」

那間小学校 校長 有留雄一郎

早いもので2ヶ月以上が過ぎ6月半ば。各教室をのぞくと子供たちが生き生きと学習に取り組んでいる様子がうかがえる。

1年生は生活科の学習で朝顔を植え、そして元気に発芽し、日に日に生長している。2年生はなす、オクラ、ピーマンの苗をそれぞれ「〇〇のオクラ」「◇◇のピーマン」というように一人一人が責任をもって世話をするように名前が付いている。ほほえましい。1年生の学級通信を読むと「目、耳、鼻、手、心」で朝顔の観察をするように書かれていた。葉っぱの様子(葉の数、形、大きさなど)をよく見て、苗の匂いを嗅いだり、指で葉の感触を感じたりしながら、一所懸命スケッチしている。別な日には2年生が自分たちが植えた苗の様子を観察していた。どんな匂いがするのか自分が植えた苗の葉や花に鼻を近づけている。オクラの花には「あっ、くさっ。」と言いながら便利なタブレットで写真に収めた。理科の授業でも植物の生長を目で見るだけでなく、触れたり、匂いを嗅いだりしている。5年生はメダカの観察でたまごや生まれたばかりの小さな稚魚を観察している。校長室前のビオトープには休み時間のたびに下学年の子供たちがザリガニや生き物を見つけるために集まっている。この植物や動物に触れることが大切なのである。



大学の先輩に埼玉大学の教授がいる。私たちは大学の木材研究室で、先輩は「木製ロッキングチェア」私は「間伐材のログハウス」について研究論文に取り組んだ。今その先輩は大学で技術家庭科の教授の傍ら全国各地を廻り「木育」を推進している。

「木育」…子どもをはじめとするすべての人々が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取り組みであり、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むこととあり次のようなねらいがある。

- 1 心身を健やかに保ち、思いやりと優しさが育つ
- 2 感性や社会性を高める
- 3 森林や環境に対する認識を高める

鹿児島大学附属幼稚園でもこの木育を取り入れているという報道を以前拝見した。このように自然と触れあうことは子供たちの成長に欠かせない要素である。

少し話が変わるが、埼玉大学の先輩は20年程前、学生に卒論を手書きでさせていた。私たちが学生の頃、教授から「これからはPCの時代だ」と言われPCでの卒論作成にあくせくしていたのだが…。先輩に聞くと、「PCは簡単にデータや文書の削除や貼り付けができる。決められた字数や枠の中で『いかに適切な言葉を選ぶか』しっかりと考えさせるため」と聞いて納得したのを覚えている。

情報化社会は日々加速しながら進化し、最近「チャットGPT」「生成AI」なるものの話題が絶えない。条件をそろえ、必要な情報を入力すれば希望する企画書などもすぐ作成してくれたり、講演会資料なども作成してくれたりするらしい。ネット上の膨大な情報をすぐさま検索して整理して文書化する。便利だからこそ危惧されることも多々あるように思う。いずれ近いうちに使わなければならない時期がくるとは思うが、AIに使われるのではなく、正しく使える人を育てていかなければならないように思う。そのためにも、読書や芸術にふれるなど「心から感動する体験」も必要だし、今本校の職員が子供たちと一緒に取り組んでいる「五感を育む授業」や「感性を育む授業」が大切なのではないだろうかと思う。

6月
 16日(金) ユンヌフトゥバ学習
 20日(火) 歯と口の健康教室(～21日)
 29日(木) 遠泳大会 予備日:6月30日(金)
7月
 6日(木) くじら号

7月
 7日(金) 校内水泳大会・学級PTA
 8日(土) 土曜授業
 10日(月) 着衣水泳
 20日(木) 終業式・大掃除・くじら号(回収日)

